



# がん相談支援室よりお知らせ

2013年12月12日

国立がん研究センターがん対策情報センターから、がん患者さんに役立つ情報、心構え、病気や治療の知識、費用・支援制度・療養に役立つヒントなどが患者さんの視点でまとめられた書籍が発行されました。

当院のがん相談支援室、がん患者・家族交流スペース「帝京宿場町 陽だまり」、インフォメーション等で閲覧ができますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

**2013年9月中旬発売**



**患者必携**  
**がんになったら手にとるガイド**  
普及新版

別冊「患者必携 わたしの療養手帳」つき

「社会とのつながり」「患者さんの手帳」をより充実！すべてのがんに共通する情報をまとめた特製新編です。

あわせて！  
おまけ、療養の心づかいがわかるおまけです。

山田彩子 監修

発行：学研メディカル秀潤社  
ISBN 978-4-7809-1129-9  
本体：880円(税別)

**患者必携**

**がんになったら手にとるガイド**

**普及新版**

別冊「患者必携 わたしの療養手帳」つき

がんと診断されたらまずはじめに読む本として、がん患者さんやその家族の方に活用していただきたい情報をまとめました。がん医療に関するだけでなく、療養生活での不安や悩みへの対応など、ご本人や家族の視点を大切に作りしました。がんと向き合い、周囲の人と支えあいながら、自分らしい療養生活を送るための手引書です。別冊「患者必携 わたしの療養手帳」つき。



**2013年9月9日発売**

発行：日経BP社  
ISBN 978-4-8222-7425-2  
本体：1,200円(税別)

国立がん研究センター  
がん対策情報センター作成  
**「がんの本」**

発行：英治出版  
ISBN 978-4-86276-139-2  
本体：750円(税別)



**もしも、がんが再発したら**

本人と家族に伝えたいこと

「不安が小さくなりました!」

ガイド + 体験談

**わたしも、がんでした。**  
がんと共に生きるための処方箋

がん患者さん、ご家族、職場の仲間、地域社会における関係者、そして医療者それぞれの立場で、「がんと共に働き、生きる」ためには、何をすればいいのか、どう考えればいいのか、をまとめました。

**もしも、がんが再発したら**  
【患者必携】本人と家族に伝えたいこと

再発に対する不安や、再発に直面したときの支えとなる情報をまとめた本です。実際にご自身が再発がん、多重がんを経験された方を中心に、がんの専門医らと共につくられています。

これらの本は、国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報サービス (<http://ganjoho.jp/>) で閲覧が可能です。本として入手ご希望の方は、書店または当院1階のローソンでもご購入いただけます。



国立がん研究センターがん情報サービス [ganjoho.jp](http://ganjoho.jp)

ご不明な点は、帝京大学医学部附属病院 がん相談支援室までご相談ください。  
TEL：03-3964-3956 (直通)